

*Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital*

# 獨協医科大学

# 越谷病院だより

2010.11  
**18**号



## ● 主な内容 ●

CBRNEテロ災害訓練の実施	2
腎臓内科の設置について	3
診療科外来の再編に伴うリニューアル工事について	3
南越谷阿波踊り	4
獨協医科大学公開講座開催される（メタボリックシンドロームにならないために）	4
病院への手紙	5
ご支援のお願い	6

## CBRNEテロ災害訓練実施される

9月24日（金）午後3時から、越谷市消防本部のご協力のもと、CBRNEテロ災害訓練が実施されました。【Chemical(化学) Biological(生物) Radiological(放射線) Nuclear(核) Explosive(爆発)】

当院は災害拠点病院の指定を受け、埼玉県より除染テント一張、防護服二着が支給されております。しかし除染テントは平成14年5月に一度設置したきりだったことから、今回の訓練を計画しました。

訓練は新越谷駅で不審者が液体をばら撒き、その液体を浴びた人達が病院に徒歩で来院することを想定しました。一人目の患者が来院後、災害対策本部を設置し、汚染患者を建物内に入れないようにするゲートコントロール、除染の要否を判断する除染前トリアージ、除染エリアではシャワーでの水除染と衣服を脱ぐだけの乾的除染に分け、除染後トリアージを経て診療エリアへ進む患者の流れを作りました。

訓練終了後、当院災害対策委員会委員長の山田准教授（救急医療科）から、「化学災害テロはウォームゾーン（汚染区域）とコールドゾーン（非汚染区域）の明確化が重要であり、患者の引き渡し等についても準備不足だったかもしれないが、次回の訓練に生かすこと、また人に言われて動くのではなく自分から動き、自分以外の役割も考えながら行動することが大事である」との感想が述べられました。

最後に越谷消防本部蒲生分署から、除染テントを使っただけの訓練は初めてだが、その割には流れもスムーズで良く出来ていたとの講評をいただきました。

今後も当院ではあらゆる災害を想定した訓練、マニュアル作り等をしていきたいと考えております。



## 腎臓内科の設置について

当院では、急増する腎疾患に対応できる専門の診療科がなく、診察医師も循環器内科の非常勤講師2名のみと予てより日常的な対応に苦慮しておりました。このようなことから、本年11月から専門の内科として「腎臓内科」を設置して体制の充実を図り、多岐に亘る腎疾患について、質の高い医療で種々のニーズに応えることとなりましたのでお知らせいたします。

- 1) 診療科名：腎臓内科（略称：腎内）
- 2) 診療部長：竹田 徹朗
- 3) 外来の場所については、11月より開始を予定している1・2階フロアーのリフォーム完了後に2階フロアーに設置することを予定しております。ただし、リフォームについては他の診療科も含め、仮設診察室で行うこともありますので、随時ご案内いたします。

## 診療科外来の再編に伴うリニューアル工事のお知らせ

当院は4月から新たな外科（第一外科）を設置し、本年11月には急増する腎疾患に対応するため「腎臓内科」を設置することから、限られた院内スペースを有効に利用していくために、1階・2階の診療科外来を再編しリニューアル工事を行うことになりました。

今回のリフォームは内科系診療科（内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科）を中央棟2階部分に横一列に配置するとともに、診療上かかわりのある科同士を隣接して各診療科がより連携しやすいように配置転換いたします。

これに伴い、工事期間中においては中央棟2階と中央棟1階に仮設診察室を設置させていただきますこととなります。工事期間中患者さまにはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力のほどお願いいたします。

なお、リニューアル工事期間中の各科外来は工事工程に基づき順次、仮設診察室に移動することとなりますので、患者さま等にわかりやすいよう随時ご案内をさせていただきます。

## 患者さま及びご来院の皆さまへ ～安全な医療の提供にご協力下さい～

当院では基本方針の一つである「患者さまを中心とした医療の実践」のために、患者さまやご来院の皆さまの安全を第一に考えております。

そのため、万一、以下のような迷惑行為が行われた場合には、やむを得ず診療を控えさせていただくことや、警察署に通報することがあります。予めご了承いただきますとともに、安全で適切な医療の提供にご協力ください。

- 1) 他の患者さま・ご来院の方々及び病院職員に暴力を振るった場合、またはその恐れが強い場合。
- 2) 大声、暴言または脅迫的な言動により、不当な要求を繰り返し、他の患者さま等に迷惑を及ぼし病院職員の業務を妨げた場合。
- 3) 診療もしくは面会等の正当な理由なく院内に立ち入り、注意しても退去しない場合。
- 4) 機器備品・建物設備を故意に破損した場合。
- 5) 危険物を院内に持ち込んだ場合。

## 南越谷阿波踊り開催される

### 踊りは獨医連！ やっとさ～ やっとやっど！！

越谷市における毎年夏の一大イベント「南越谷阿波踊り」が8月21、22日の二日間に亘り、南越谷駅周辺で開催されました。

この南越谷阿波踊りには、例年同様、当院の医師や看護師を始めとする教職員やその家族が「獨医連」として参加し、美しく、力強い踊り・演奏を披露しました。

駅前大通りなどを使い各連ごとに隊列を組んで踊る「流し踊り」に先立ち、獨医連は当院にご入院中の患者様やその他当院に関わる多くの方々に対し、病棟での流し踊り、そして病院の正面玄関前での「組踊り」を披露いたしました。

病院の中における教職員の顔とは、また違った一面を見られるとあって、観客の皆様からは、「楽しみにしていた」とおっしゃる方も数多く、たくさんの方から笑顔が溢れ歓声と拍手がこだまし大いに盛り上がりました。



## 獨協医科大学公開講座

### 「メタボリックシンドロームにならないために」開催されました

私ども獨協医科大学の公開講座は、「開かれた大学」を目指し、地域の皆様の生涯学習の機会として、これまで日常生活に役立つ医学・医療に関する情報を提供して参りました。

おかげさまで、平成3年から始まったこの講座については、今年で開講20周年目を迎え、昨年まで延べ約7,500名の方々のご参加をいただいております。

今回の講座は10月2日から例年同様3回シリーズで『メタボリックシンドロームにならないために』をメインテーマに大学病院としての専門性を活かした講演を実施いたしました。

今回は当院の健康管理センター長・栄養士、内科医の先生方から、それぞれの専門分野から「メタボリックシンドロームとはなにか？」「メタボはなぜ危険なのか？」「メタボにならないための予防法は？」などについて、分かりやすく解説していただきました。講演後に行われた質疑応答でも受講生から活発な質問が相次ぎ、大変充実した講座となりました。

今後もより多くの皆様に当院の公開講座を受講していただき、実り多い充実した学習機会にしていきたいと思います。



写真は今年の公開講座から

## 病院への手紙にお答えいたします

～当院の各部署に設置してあります、ご意見箱に寄せられる  
患者さまのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

### \* 病院北側駐輪場について

〈37歳男性〉

駐輪場に自転車を置くのに500円をとるのはいかなものか。予約票まで確認しているのにやりすぎではないか。

#### お答えいたします

従来、北側駐輪場は患者さまや面会の皆さま及び当院教職員用として運用してまいりましたが、当院に関係のない近隣の通勤者等による駐輪が常態化し、多くの患者さまにご迷惑をお掛けしておりました。これらの改善のため、昨年12月から教職員駐輪場は別途確保し、北側駐輪場を患者さま及び面会者専用のもとし、関係ない通勤者の排除を目的として、入庫の際に予約票等を確認の上、500円をお預かりし出庫の際にお返しするという運用を行っております。利用者の方からは出入庫の際の煩雑さに対するご意見もいただいておりますが、以前に比べ整理されており、利用しやすくなったとのご意見もいただいております。

患者様さまにおかれましては、上記事情をご賢察の上ご協力をお願いいたします。

### \* 病棟におけるパソコン使用について

〈51歳男性〉

病棟へはパソコンの持込み禁止ということで、入院中は1階外来ロビーにて会社のメールのやりとりをしましたが、病棟での談話室等で取り扱いができるようにしてほしい。

#### お答えいたします

以前、入院中も院内で自由にインターネットを使える環境にして欲しいとの要望があったことから、試験的に無線LANによるインターネットサービス「ホットスポット」を1階外来ロビー付近に設置いたしました。利用者が非常に少ないことから、現時点において病棟等への拡大は考えておりませんので悪しからずご了承ください。

### 病院への手紙について

患者さまから寄せられる「病院への手紙」につきましては、週1回収し、病院長をはじめとする当院幹部役職者が目を通した上で、該当部署に回答及び今後の対応などを報告させています。

その中で改善できるものは早急に改善し、反省すべきご指摘は謙虚に反省し、検討を要するものは少しでも患者さまのご要望にお応えできるよう日々努力しております。

この「病院への手紙」については、性格上そのほとんどが匿名であることから、該当部署から直接ご本人に回答することはできませんが、皆様からのご意見を当院の貴重な財産として真摯に受け止め、より良い病院づくりの一助にしたいと考えております。

なお、皆様からのご意見、そしてその回答については、この病院だよりを通じて一部ご紹介させていただきますが、それ以外のものにつきましても、現状において可能な限り然るべき対応を行っていることをご理解賜りたいと思います。

## ご支援のお願い

当院では、「獨協医科大学教育研究振興基金」として個人・企業の皆様方からのご寄付を募り、診療・教育・研究の充実をさらに推進するための資金とさせていただきたいと考えております。

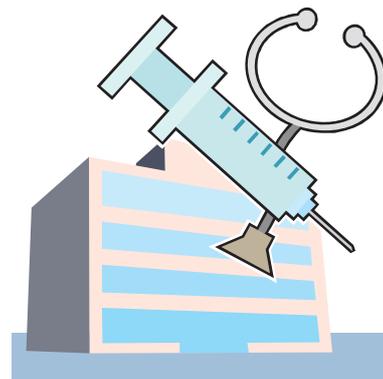
ぜひ多くの皆様からのご支援・ご協力をお待ちしております。

これまで、ご寄付いただいた資金について、当院ではこれまで外来患者様が使用する車椅子が少なかったことから、車椅子や歩行器を購入し、この正面玄関前に置き、足のご不自由な患者様やお年寄りの方々にご利用いただいております。

◆ご寄付いただいた方にはご芳名を「獨協医科大学越谷病院寄付者芳名版」に刻印し掲示させていただくほか、獨協医科大学においても寄付の記録と顕彰をさせていただきます。

◆詳しいお問い合わせは事務部または下記まで。

<http://www.dokkyomed.ac.jp/goshien/>



### 癌の治療のサポートや ご相談はありませんか？

当院**緩和ケアチーム**は  
がんを治療する患者さんとご家族を  
支援いたします！

- ①痛み・吐き気・むくみなど、苦しい症状を何とかして欲しい。
- ②家に帰りたいが病状が安定せず在宅療養の自信がない。
- ③本人・家族の悩みや不安を聞いて欲しい
- ④医師から説明を聞いたが難しくよくわからない。 などなど…  
治療や生活上の心配事、聞きたいことなどをお伺いします。

■お問い合わせは…

獨協医科大学越谷病院 048 (965) 1111 (代表)

緩和ケア認定看護師 井口 (コール6319)

又は、お近くの看護師まで御連絡下さい。